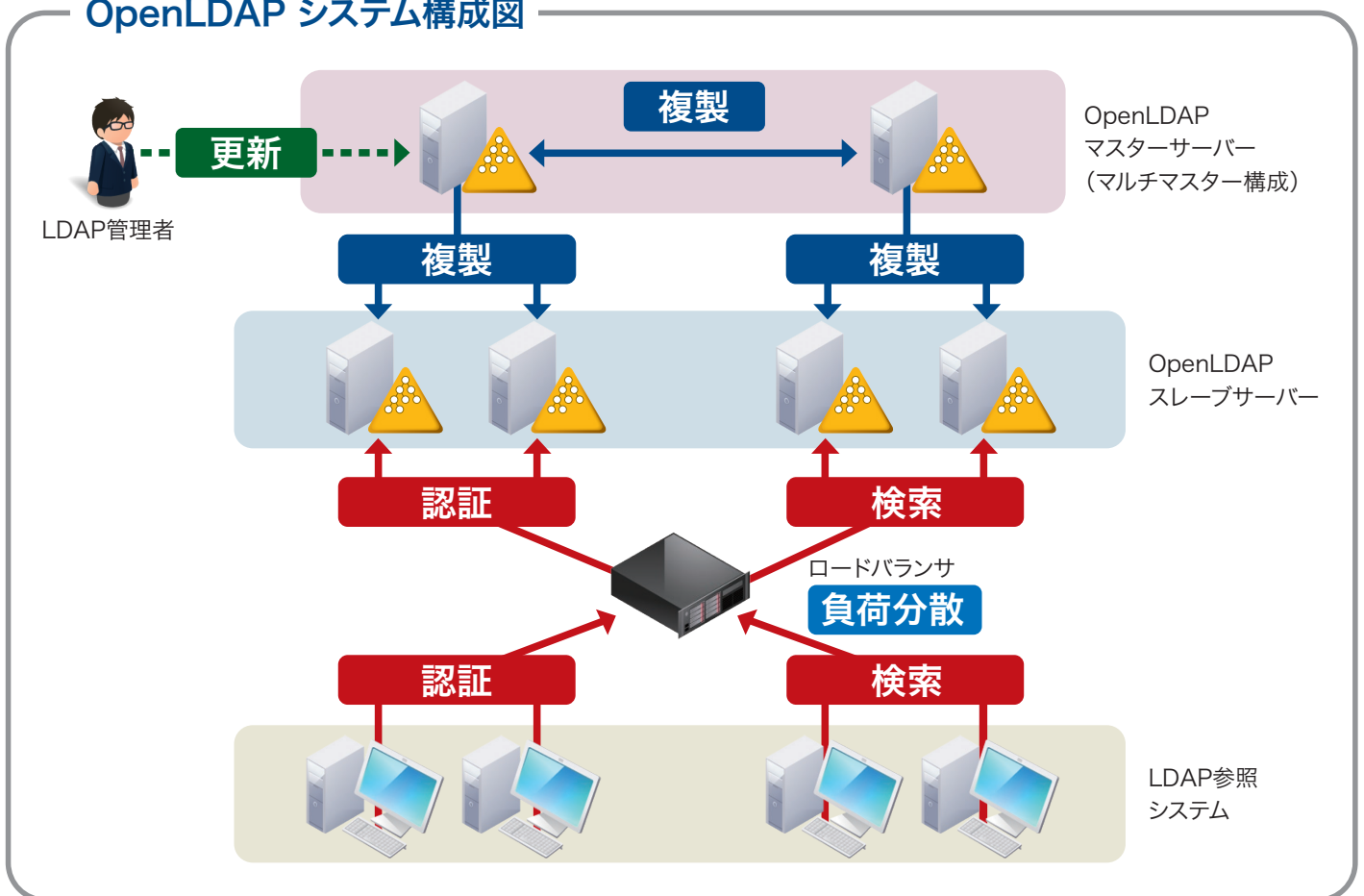


OpenLDAP 2.4

OpenLDAPを用いてディレクトリ・サービスを構築することで、Linux/Unix/Windows/Macの各種サービス(ファイル共有、メール、Webサービス、RADIUSなど)の認証統合が可能になります。

OpenLDAP システム構成図



OpenLDAPとは?

- オープンソースソフトウェアのLDAPサーバーの中で、最も普及し、安定性に優れた動作実績
- LDAP v3に準拠し、各種LDAP対応製品との接続において、豊富な接続情報、接続実績を提供
- ユーザーライセンス費用が不要で、大規模環境においても低コストで導入・運用が可能
- マスターサーバーを冗長構成(マルチマスター)とすることができ、高い可用性を提供
- スレーブサーバーを増やすことで、認証・検索性能の負荷分散が可能

OpenLDAP 2.4 機能

- LDAP v3に準拠したディレクトリサービスを提供
- TLS/SSLによる通信経路の暗号化
- アクセス制御機能によるアクセス権の管理
- パスワードポリシーによるユーザー保護
- スキーマカスタマイズによる任意の属性の登録
- マルチマスター/マスタースレーブ複製機能による冗長構成、負荷分散

OSSTech OpenLDAP 2.4の機能・特長

同時接続数拡大

OSSTech OpenLDAPは、16,384接続まで拡大。大規模システムでの運用に適しています。

データベース破壊の防止

バックエンドに安定版BDBを採用し、LDAPのデータ破壊、ハングアップ、リカバリ不可など多くの不具合を修正しています。

パスワードポリシーの強化

OpenLDAPのppolicyオーバーレイと連携して、パスワードの複雑性の制約を設定可能です。

Active Directoryとパスワード同期

OSSTech製OpenLDAPとPassSyncによりWindowsのパスワード変更操作で、OpenLDAPとのパスワードの双方向同期が可能です。

パスワードハッシュの強化

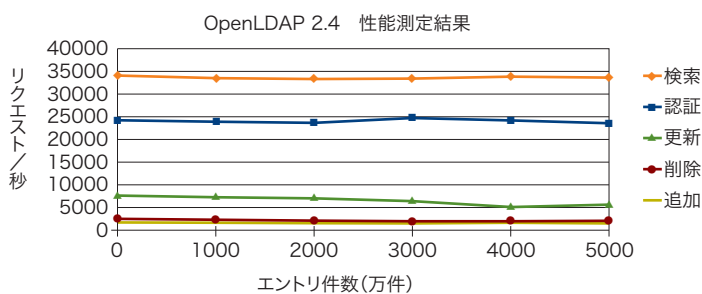
パスワードのハッシュアルゴリズムとして、SHA-2、PBKDF2を実装し、パスワード漏洩に対する保護を強化します。

運用管理の強化

バックアップ機能を同梱し、万が一のデータ破壊時にもリカバリ可能。

● 性能測定結果

OSSTech製OpenLDAPは、数百万件を超える大規模環境での利用が可能です。



【測定環境】

サーバー: Dell PowerEdge R710
CPU: Intel Xeon E5530 2.40GHz × 2個 (Quad Core, Hyper Threading 有効)
メモリ: DDR3 32GB
HDD: SAS RAID5 構成
OS: Red Hat Enterprise Linux 6.4 (x86-64)
: OSSTech製 OpenLDAP 2.4.35

● OpenLDAP導入・移行支援サービス

- OpenLDAPの導入を支援
- 各種商用LDAP製品からOpenLDAPへの移行を支援
- OpenLDAPの構成検討・設計支援
- LDAPサーバー構築
- スキーマのカスタマイズ対応
- LDAPのデータ移行支援

● OpenLDAP 年間サポート

OSSTech製OpenLDAPなら、LDAPの基礎知識から、トラブル時の障害調査まで、幅広くサポートします。

OpenLDAPの開発・導入に長年携わってきたLDAPのスペシャリストによる支援をご活用ください。

● 動作要件/対応OS

ハードウェア要件

- Intel Xeon CPU 2core以上
- メモリ 4GB以上
- ディスク 20GB以上 (OS領域含む)

対応OS

- Red Hat Enterprise Linux 6 (x86-64)
- Red Hat Enterprise Linux 7 (x86-64)
- CentOS 6 (x86-64)
- CentOS 7 (x86-64)
- IBM AIX 7.1

※その他のOSについてはお問い合わせください。